

図書だより

令和８年１０月９日発行
徳之島高校図書室
第６号

読書週間の標語決定！！





少しずつ暑さが和らぎ、秋らしい風を感じる季節になりました。スポーツの秋、食欲の秋、そして「読書の秋」。みなさんはどんな秋を過ごしていますか？

１０月２７日から１１月９日は「読書週間」です。普段、本を読む機会が少ない人も、この機会にぜひ１冊手に取ってみてください。小説を読んで物語の世界を楽しんだり、興味のある分野の本を読んで新しい発見をしたり、本との出会い方は人それぞれです。

図書室では、読書週間に合わせて特別貸し出しを行います。いつもより多くの本を借りることができるので、気になっていた本をまとめて借りるチャンスです。

秋の夜長、いつもより少しだけスマホを置いて本を読む時間をつくってみませんか？みなさんが素敵な１冊に出会えることを願っています。



【　作者のことば　】

ページをめくる時、傍目には静かに見えても、心はふっと遠くへ旅に出ていろんな体験や感情に出会っています。そんな静かな没入感と、想像力による内面の動きが同居しているおもしろさを、ことばにしてみました。

秋の読書週間＆特別貸出

全国読書週間（10/27～11/9）に合わせて
読書週間特別貸出を実施します。

特別貸出期間：１０月１９日～１１月６日
貸出冊数：１０冊まで
貸出期間：２週間

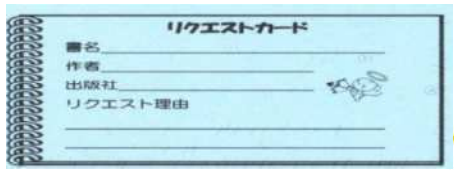


返却期限を守りましょう！

返却期限の過ぎている本は、
図書室へ返却してください。





図書室のカウンターにリクエストカードがあります。リクエストお待ちしております。
※リクエスト全てが購入できるわけではありませんので、ご了承ください。

♪図書委員おすすめ本♪

『傲慢と善良』辻村深月（913）

この物語は、婚約者の真美が忽然と姿を消したところから始まります。主人公の架は彼女を探すために、真実の過去や人間関係をどんどん辿っていきますが、探せば探すほど自分が知っていたはずの彼女の「本当の姿」が崩れていきます。みなさんは、自分では“いい子”でいようとしてるつもりなのに、無意識に上から目線で評価したり言い訳して逃げたりすることはありませんか？「自分は周りからどう見られているだろう」と周りからの評価を気にしてモヤモヤしたことがある人は、ぜひこの本を読んでみてください。

（3年図書委員）

文学3択クイズ

作家の凪良ゆうが、2023年本屋大賞（第20回）を受賞した小説はどれでしょう？

①『汝、星のごとく』

②『流浪の月』　③『星を編む』

答え：①　高校生の瞬海と転校生の櫂という、共に家庭に悪まれず孤独を抱えた二人の恋を描いた物語で、2026年10月に映画が公開予定。『星を編む』は続編です。

©少年写真新聞社2026

日本・世界の人物クイズ



私は**誰**でしょう？

- 私はハンガリー出身のピアニスト、作曲家です。
- 超絶技巧のピアノ演奏と美しい容姿から、リサイタルでは失神者が出るほど、アイドル的な人気を博しました。
- 「交響詩」という音楽様式の創始者で、「前奏曲」などを作曲しました。
- 膨大な数の教え子がいて、若者には無償でピアノを教えていました。

答え：フランツ・リスト（1811年10月22日生誕）

©少年写真新聞社2026

ハロウィン　ジョン・パサレラ（933）

恐怖は、気配を消して近づいてくる。

世界が震撼した《究極のショッキング・ホラー》

恐怖映画の金字塔「ハロウィン」が４０年の時を経て、現代に蘇る。



HALLOWEEN

といえば・・・



えんとつ町のプペル　にしのあきひろ（726）

夢を語れば笑われて、行動すれば叩かれる、現代社会の風刺！ゴミ人間プペルと煙突掃除屋のルビッチの交流を通して、信じ抜くことの大切さを描いた奇跡のファンタジー絵本。

秋

季語の世界（秋）　案山子

案山子は竹やわらで作った人形で、田畑に立てて、作物を荒らす鳥獣を防ぐ役割があります。もとは鳥獣の毛や肉を焼いて、その悪臭で追い払っていたそうで、その「嗅し」という言葉が転じて、「案山子」になったという説があります。

秋風のうごかして行
案山子哉
蕪村

